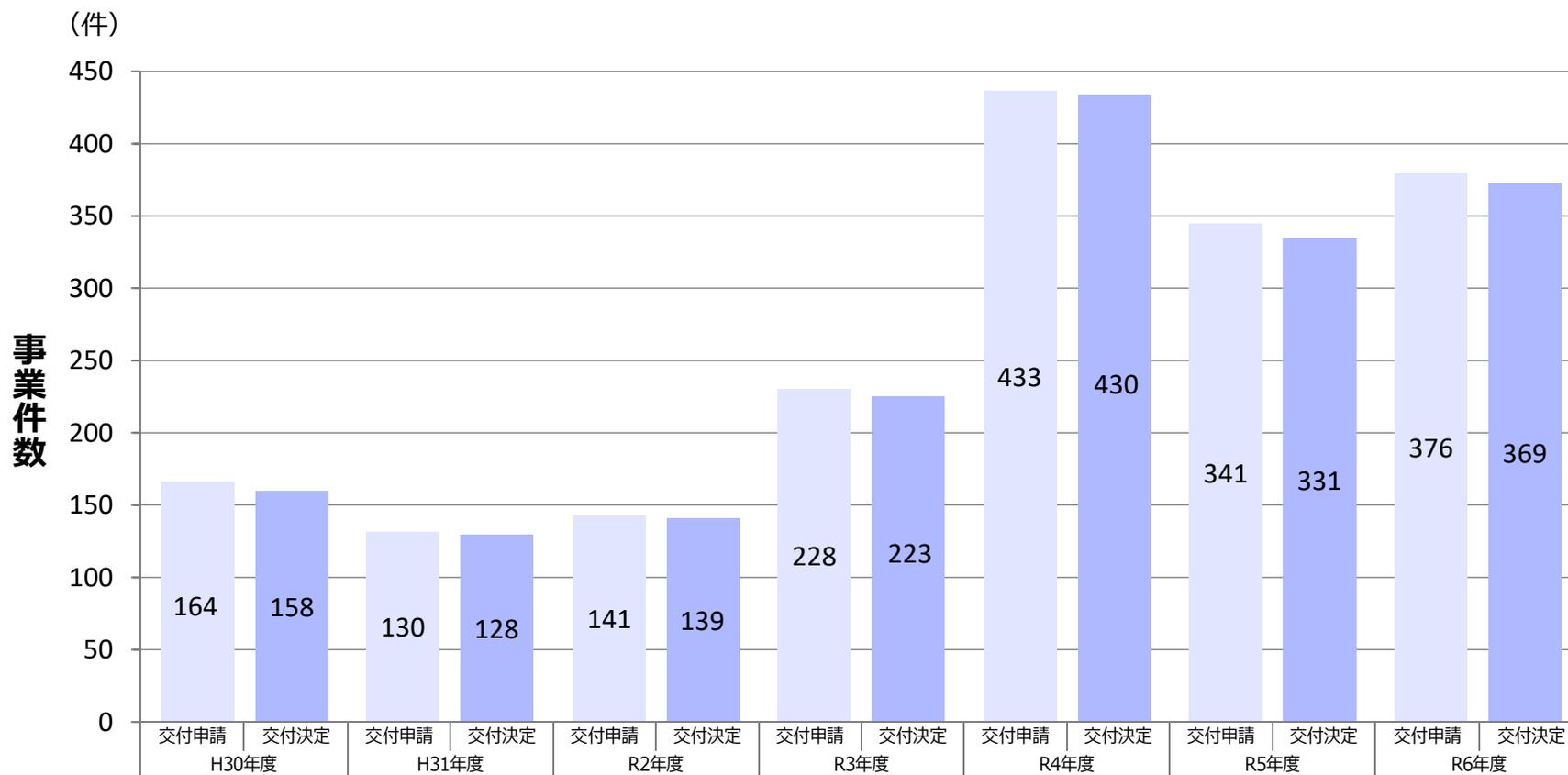


R6年度集合ZEH-M補助事業の交付決定状況 —低層ZEH-M—

1. 交付申請件数と交付決定事業件数の推移(直近7年)

➤ R5年度より、申請件数と交付決定件数が10%以上増えた。

増加の内訳として大手テベロッパーからの申請だけではなく、中小工務店が関与する申請も前年の1.5倍だった。



※H30年度の執行団体は一般社団法人地域循環共生社会連携協会、低中層合算

※H31年度の執行団体は公益財団法人北海道環境財団、低中層合算

※R2年度・3年度は一次公募、二次公募合算、低層分のみ

※R4年度は一次公募、二次公募、追加公募合算

※R5年度・R6年度は一般公募、新規取り組み公募、追加公募合算

2. 建物用途・階層、住戸数別交付決定状況

[N=369]

- 交付決定件数369件のうち、賃貸集合住宅・2層の申請が最多で、前年比34%増加した。
- 住戸数については、2層・3層ともに5～10戸の割合が多く、住戸数平均は約8戸。
- 寒冷地の申請は昨年の0件から5件に増加した。

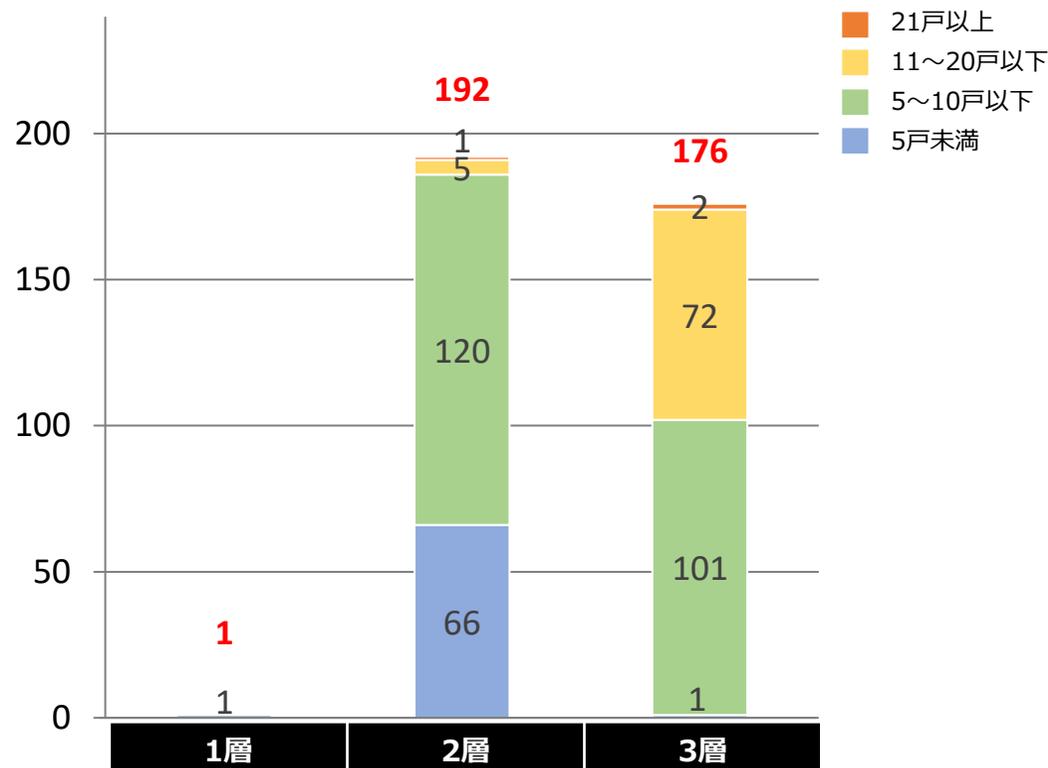
■ 交付決定件数

(件)

建物用途 地域区分 階層	分譲集合住宅			賃貸集合住宅			合計
	地域区分			地域区分			
	1・2・3	4・5・6・7	8	1・2・3	4・5・6・7	8	
1層	-	-	-	-	1	-	1
2層	-	-	-	5	187	-	192
3層	-	-	-	-	176	-	176
合計	0	0	0	5	364	0	369

■ 住棟規模・住戸数別 交付決定件数

(件)

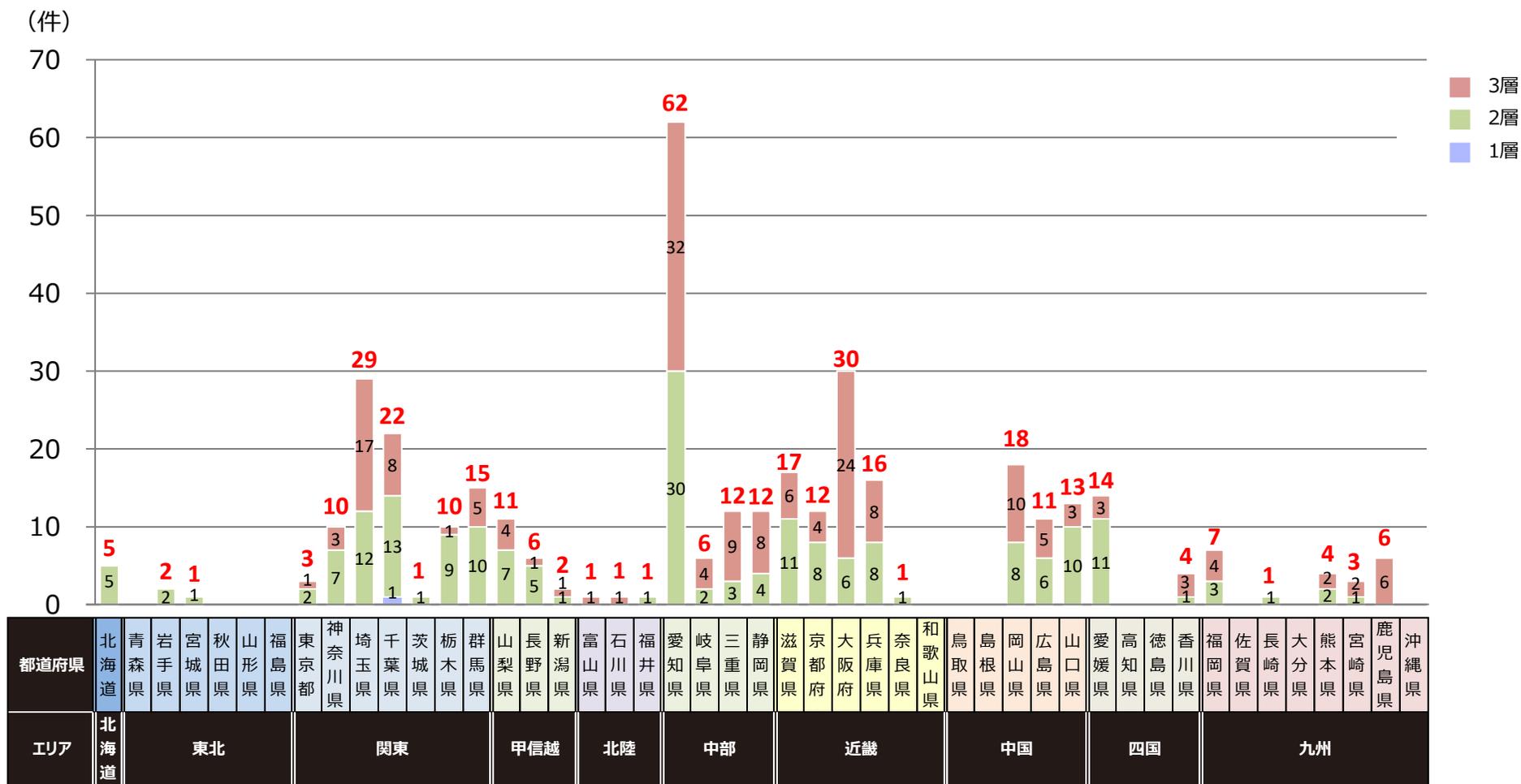


(赤字は合計数)

3. 都道府県別建設予定地

[N=369]

- 交付決定件数369件のうち、前年に引き続き愛知県が最多となった。
また、寒冷地の北海道は昨年0件から5件に増加した。



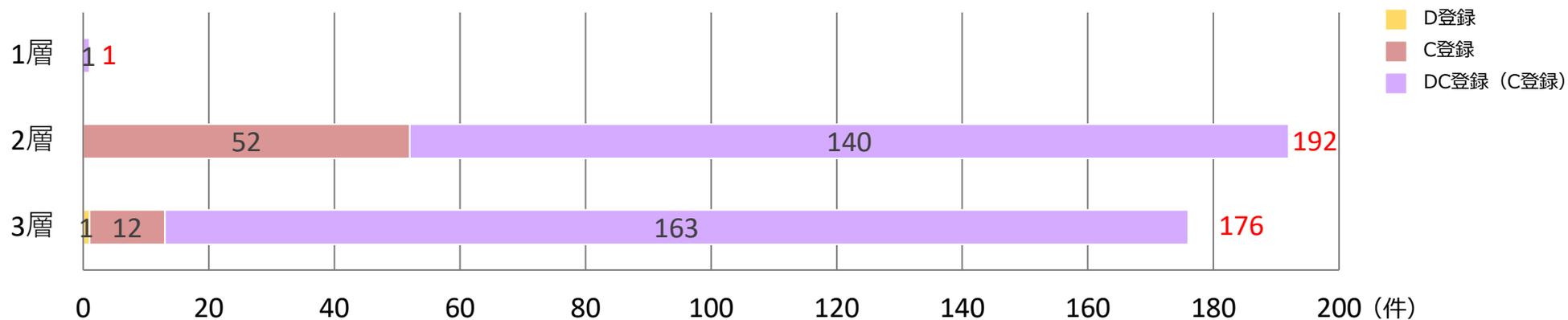
(赤字は合計数)

4. ZEHデベロッパー関与状況、構造種別

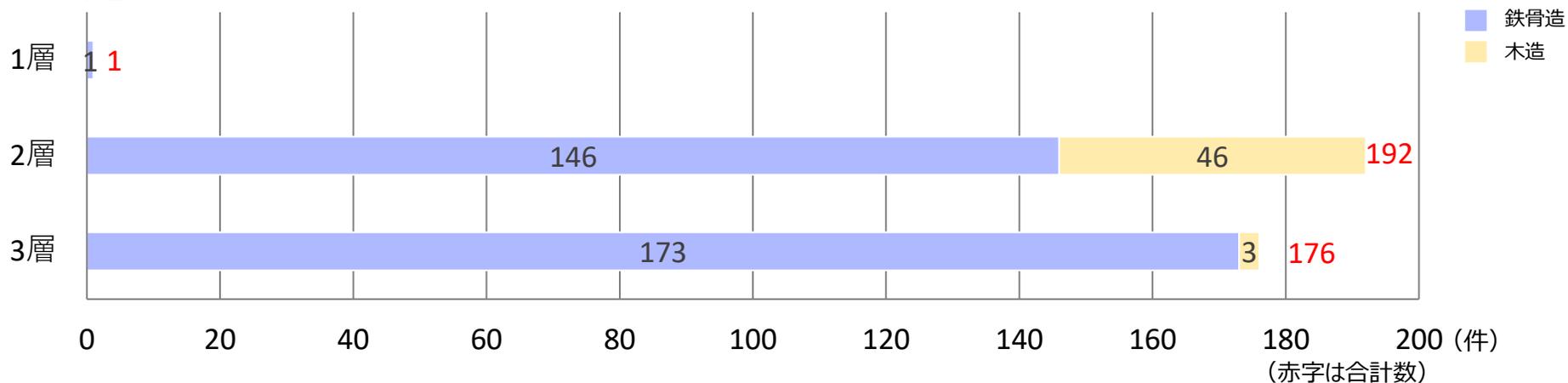
[N=369]

- DC登録のZEHデベロッパーで、C登録(建築請負会社)として関与する事業は、308件で全体の80%超を占めた。
- 構造では、大手ハウスメーカーやマンションデベロッパーが建設する鉄骨造が320件となり、全体の約90%を占めた。

■ デベロッパー関与状況



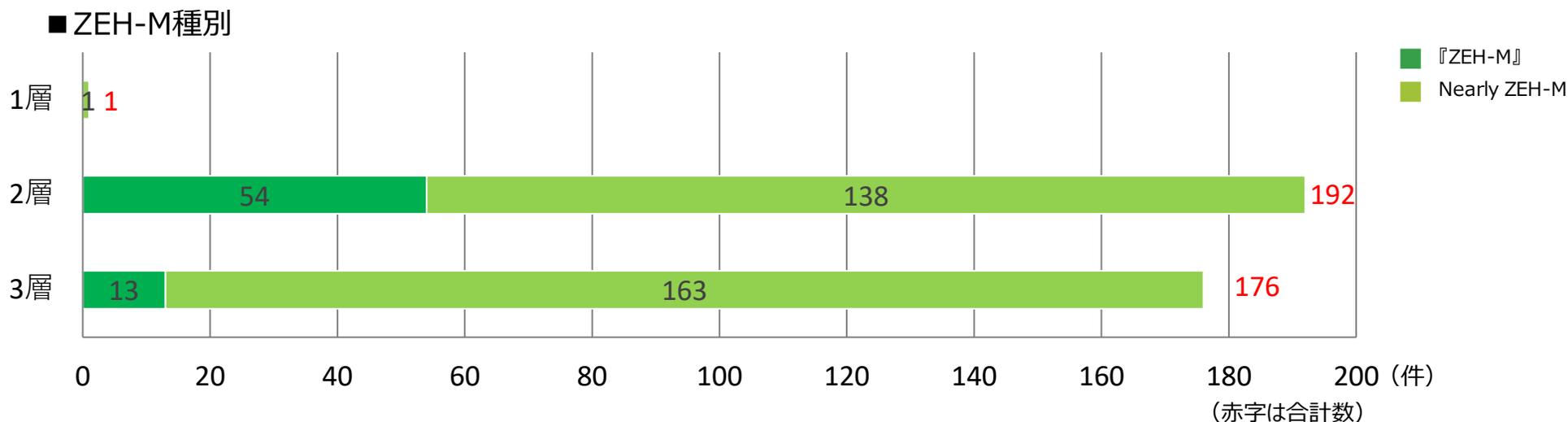
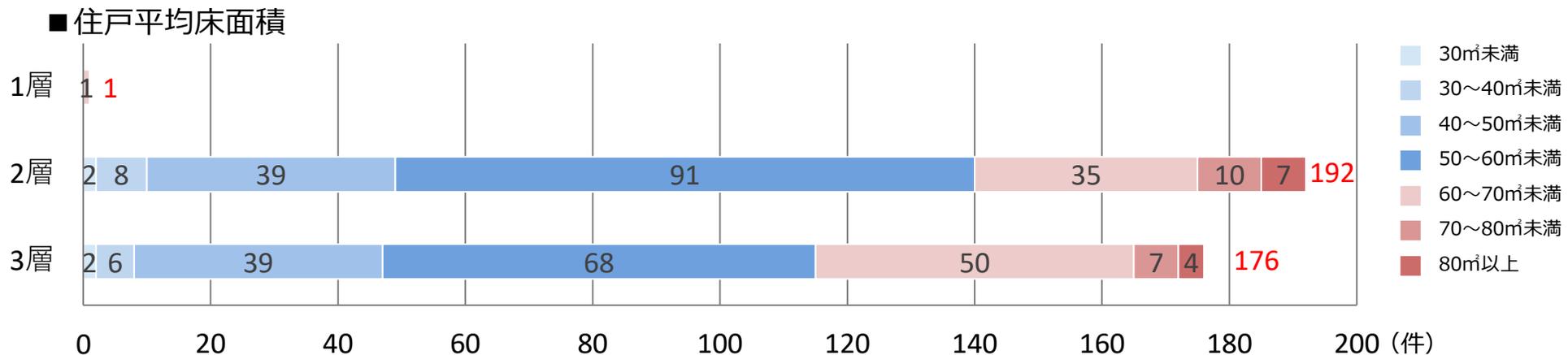
■ 構造種別



5. 住戸の平均床面積、ZEH-M種別

[N=369]

- 住戸平均床面積は50～60㎡が159件と最多で全体の約40%を占め、住棟規模ごとの平均床面積は1層約70㎡、2層・3層約55㎡。
- 『ZEH-M』は全体の約20%に留まっている。

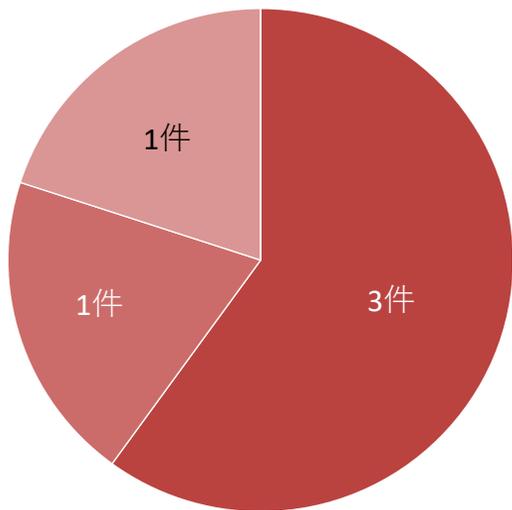


6. 住棟の地域区分ごとのUA値の割合

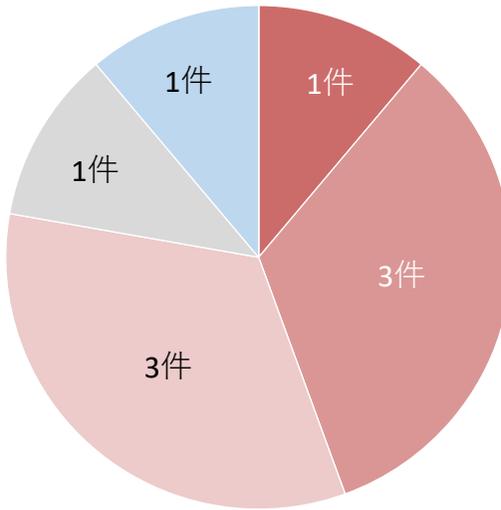
[N=369]

➤ 申請の多い5・6・7地域では、UA値0.30超～0.50以下が全体の約90%を占めている。

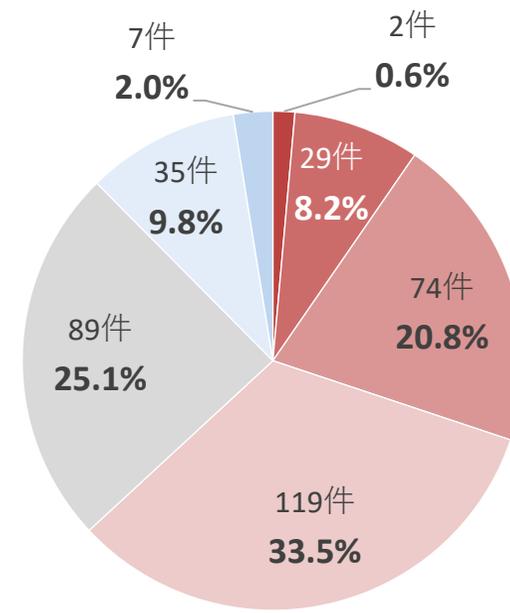
【2地域】
n=5



【4地域】
n=9



【5・6・7地域】
n=355



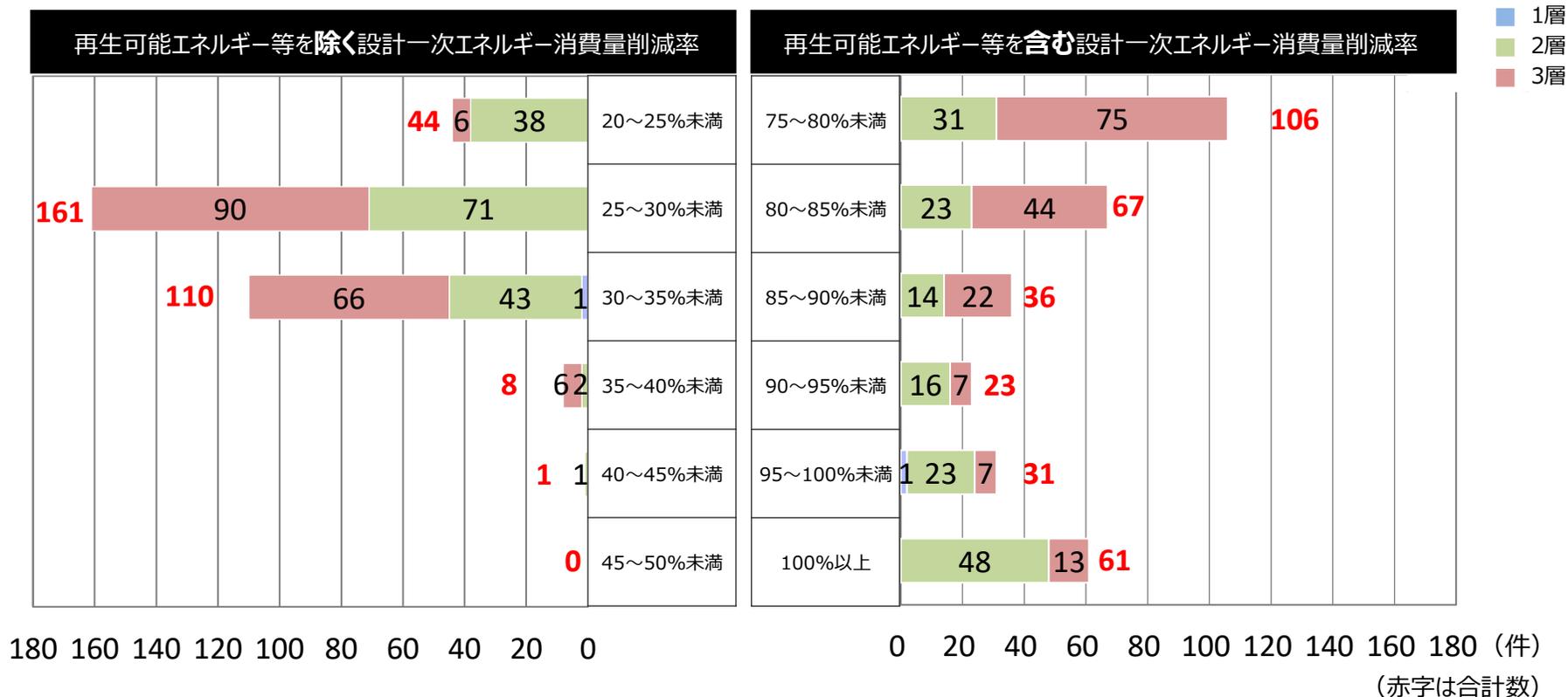
■ 0.25以下
 ■ 0.25超～0.30以下
 ■ 0.30超～0.35以下
 ■ 0.35超～0.40以下
 ■ 0.40超～0.45以下
 ■ 0.45超～0.50以下
 ■ 0.50超～0.55以下
 ■ 0.55超～0.60以下

地域区分	1地域			2地域			3地域			4地域			5地域			6地域			7地域			8地域		
	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均
UA値	0	0	0	0.15	0.34	0.22	0	0	0	0.29	0.49	0.37	0.24	0.53	0.38	0.23	0.54	0.39	0.29	0.50	0.39	0	0	0

7. 住棟BELSによる設計一次エネルギー消費量削減率

[N=324]

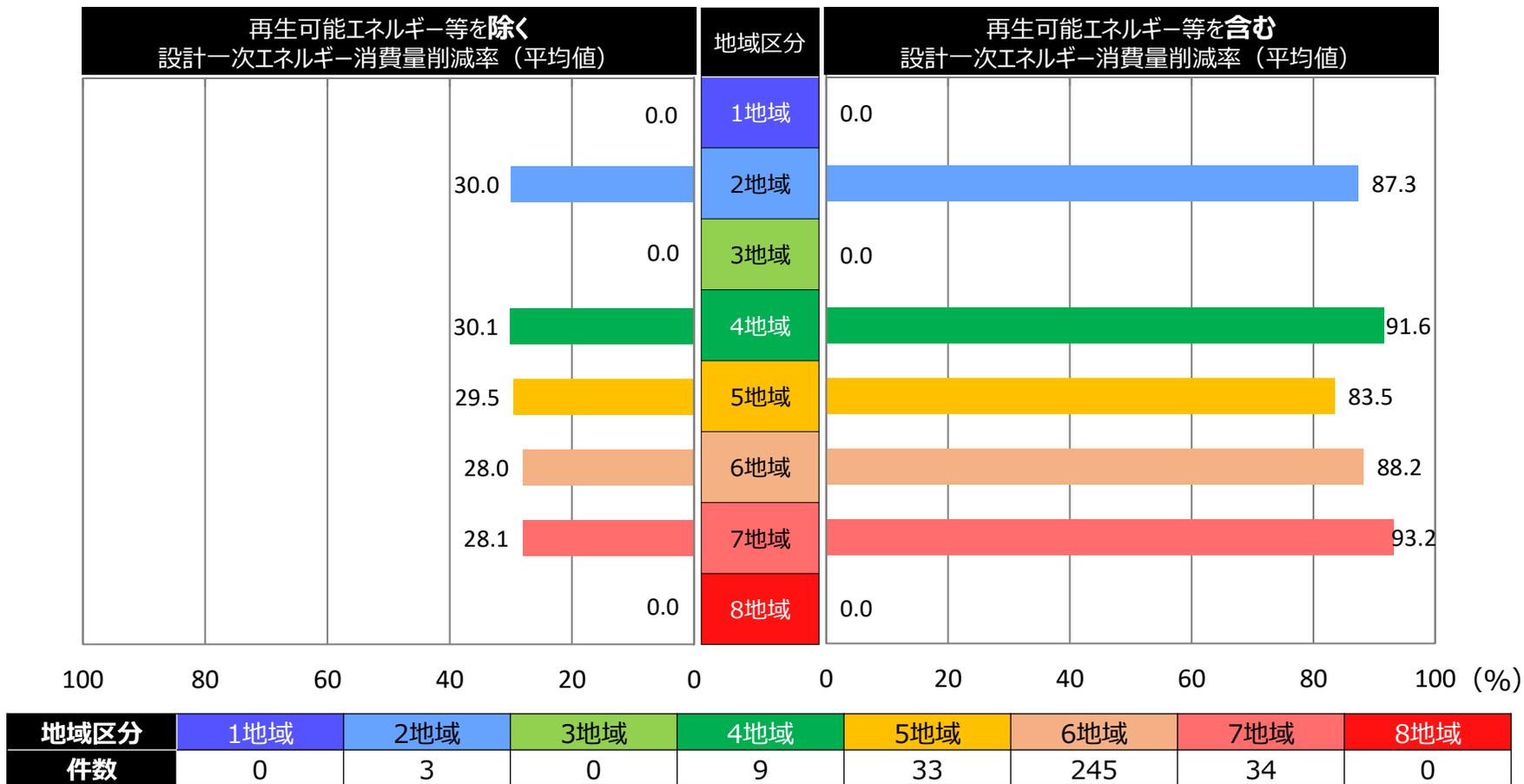
- 再生可能エネルギー等を除く設計一次エネルギー消費量削減率は、「25～30%未満」が最多で全体の約50%を占めた。
- 再生可能エネルギー等を含む設計一次エネルギー消費量削減率は、「75～80%未満」が最多で全体の約30%を占めた。次いで多いのが「80～85%未満」だが、「100%以上」の計画もほぼ同数だった。



8. 住棟BELSによる設計一次エネルギー消費量削減率(地域区分別)

[N=324]

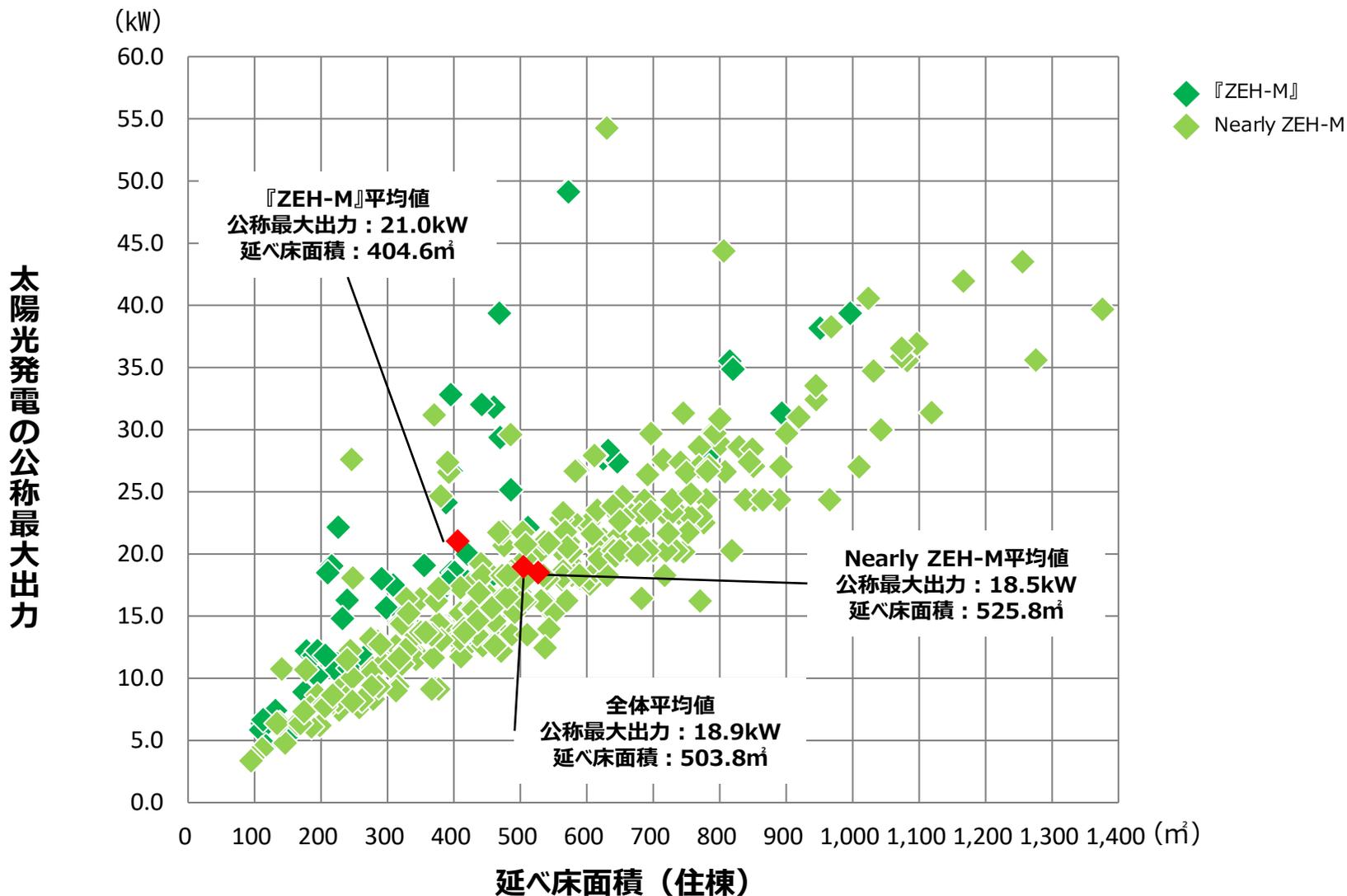
- 再生可能エネルギー等を含む設計一次エネルギー消費量削減率は、寒冷地である2地域でも温暖地と大きく変わらない削減率を達成している。



9. 住棟の太陽光発電の公称最大出力の分布(延べ床面積別)

[N=369]

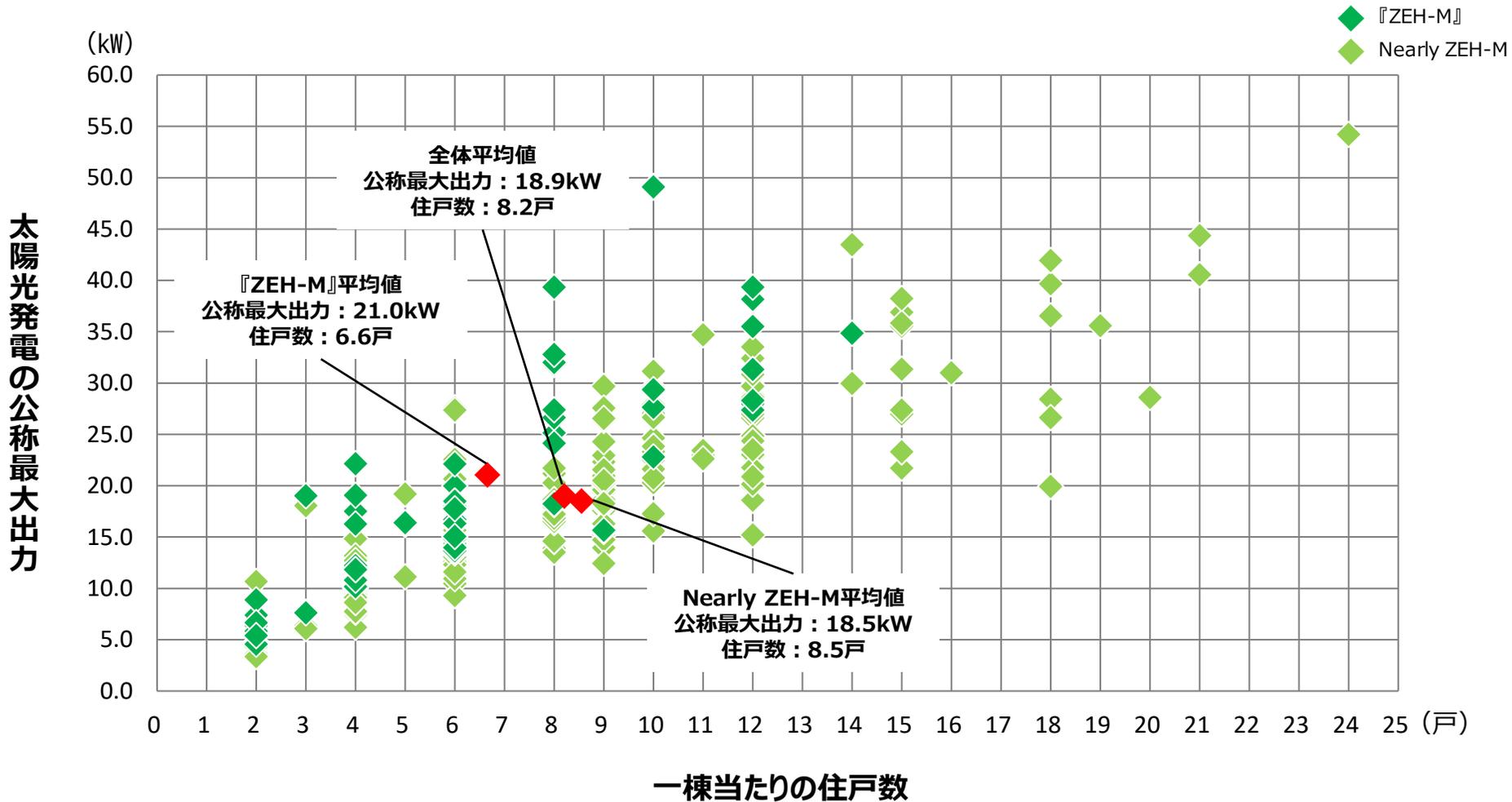
- 『ZEH-M』、Nearly ZEH-Mともに延べ床面積に比例して太陽光発電の公称最大出力も大きくなっている。
- 1住戸の延べ床面積当たりの公称最大出力の平均は、『ZEH-M』3.2kW、Nearly ZEH-M 2.2kW。



10. 住棟の太陽光発電の公称最大出力の分布(住戸数別)

[N=369]

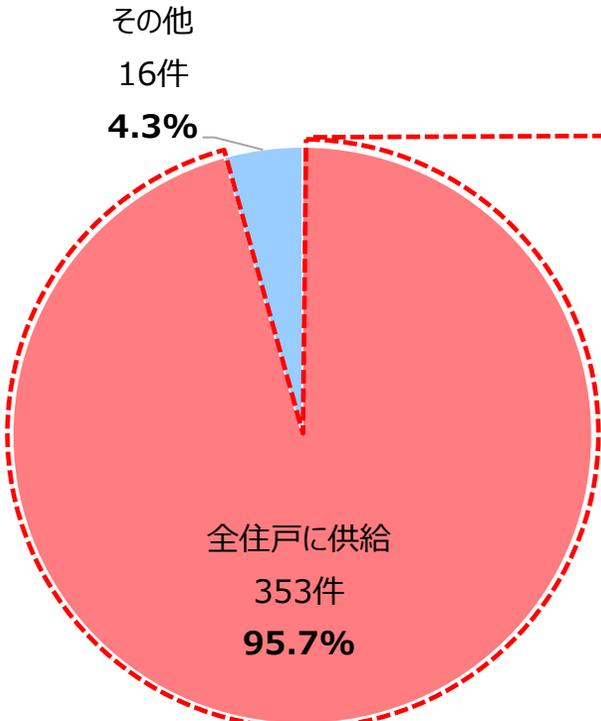
➤ 住戸当たりの公称最大出力の平均は、『ZEH-M』3.2kW、Nearly ZEH-M 2.2kW。



11. 太陽光発電の供給住戸状況と電力分配方法

- 住棟BELSを取得した事業のうち、「全住戸に供給」が353件と最多で、全体の約95%を占めた。
- 全住戸に供給した事業のうち、住戸ごとに受電する個別受電型は314件で約89%だった。

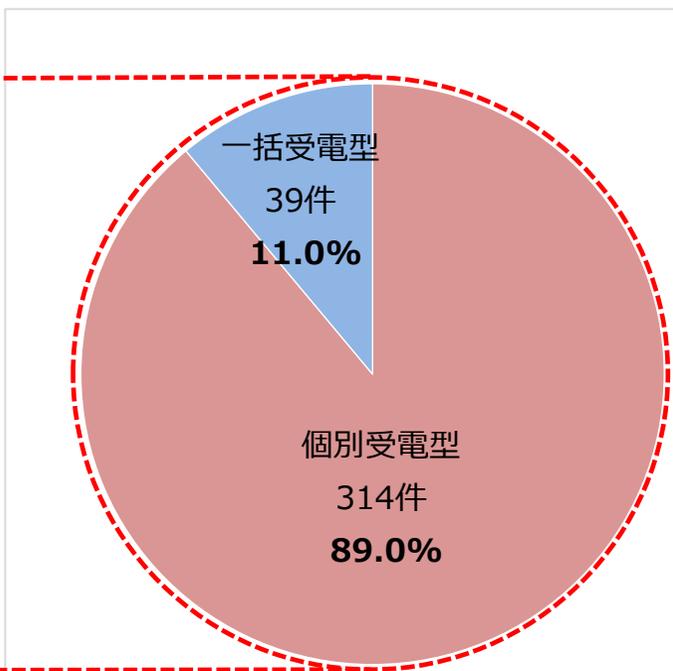
■ 太陽光発電の住戸への供給割合



■ その他の内訳

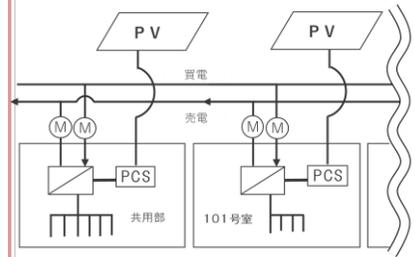
供給割合	
30%未満	総住戸数のうち 1.4%
30~50%未満	総住戸数のうち 0.3%
50~70%未満	総住戸数のうち 1.1%
70~100%未満	総住戸数のうち 1.6%

■ 全住戸供給事業の太陽光発電の分配方法



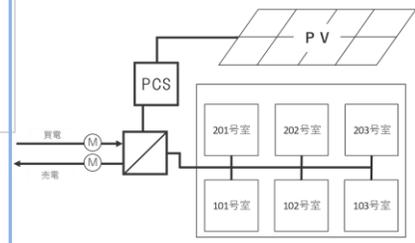
個別受電型

各住戸に一对のPVとPCSを装着し、個別に系統連系する



一括受電型

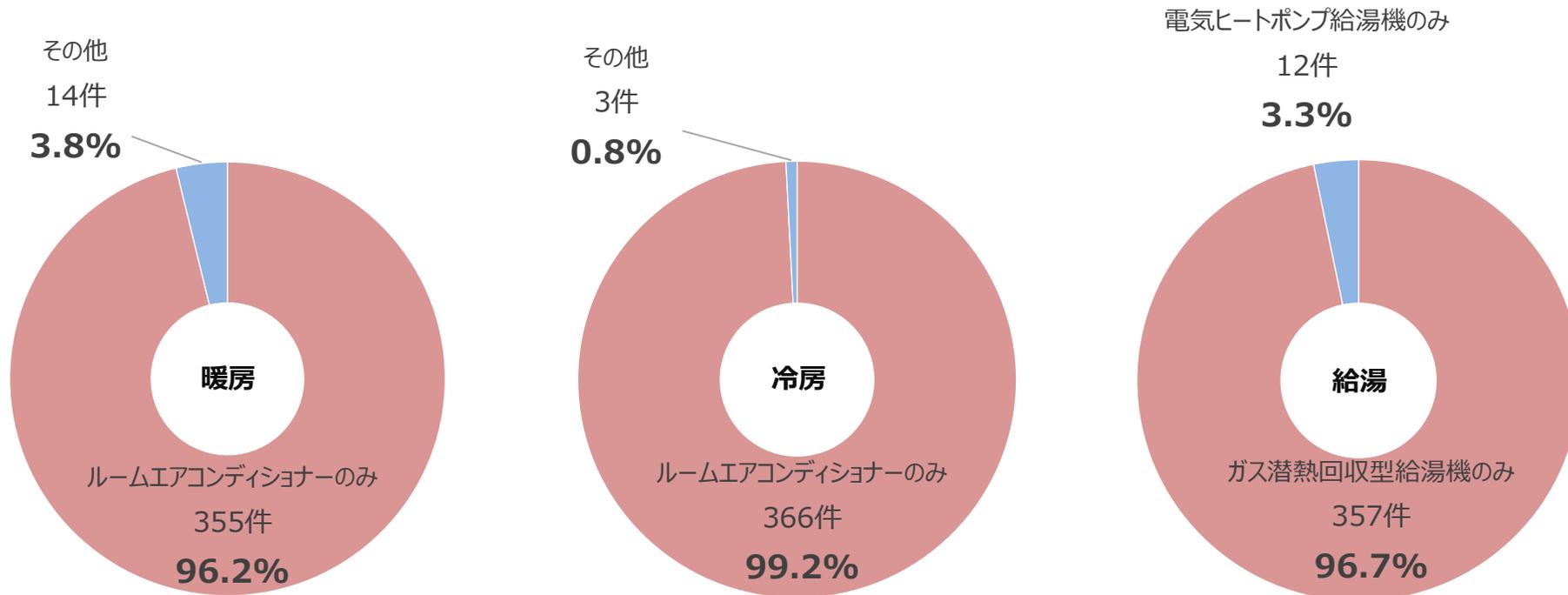
住棟全体で一括受電し、創電力と買電力を合わせて各住戸に分配



12. 主たる居室の空調・給湯設備導入状況(住棟別)

[N=369]

➤ ルームエアコンディショナーとガス潜熱回収型給湯機の導入が最多で、全体の大多数を占めた。



■ その他の内訳 (暖房)

設備名	件数
ルームエアコンディショナー一部、温水式床暖房*	11件
ルームエアコンディショナー一部、ヒートポンプ式セントラル空調システム	1件
パネルラジエーターのみ*	2件

■ その他の内訳 (冷房)

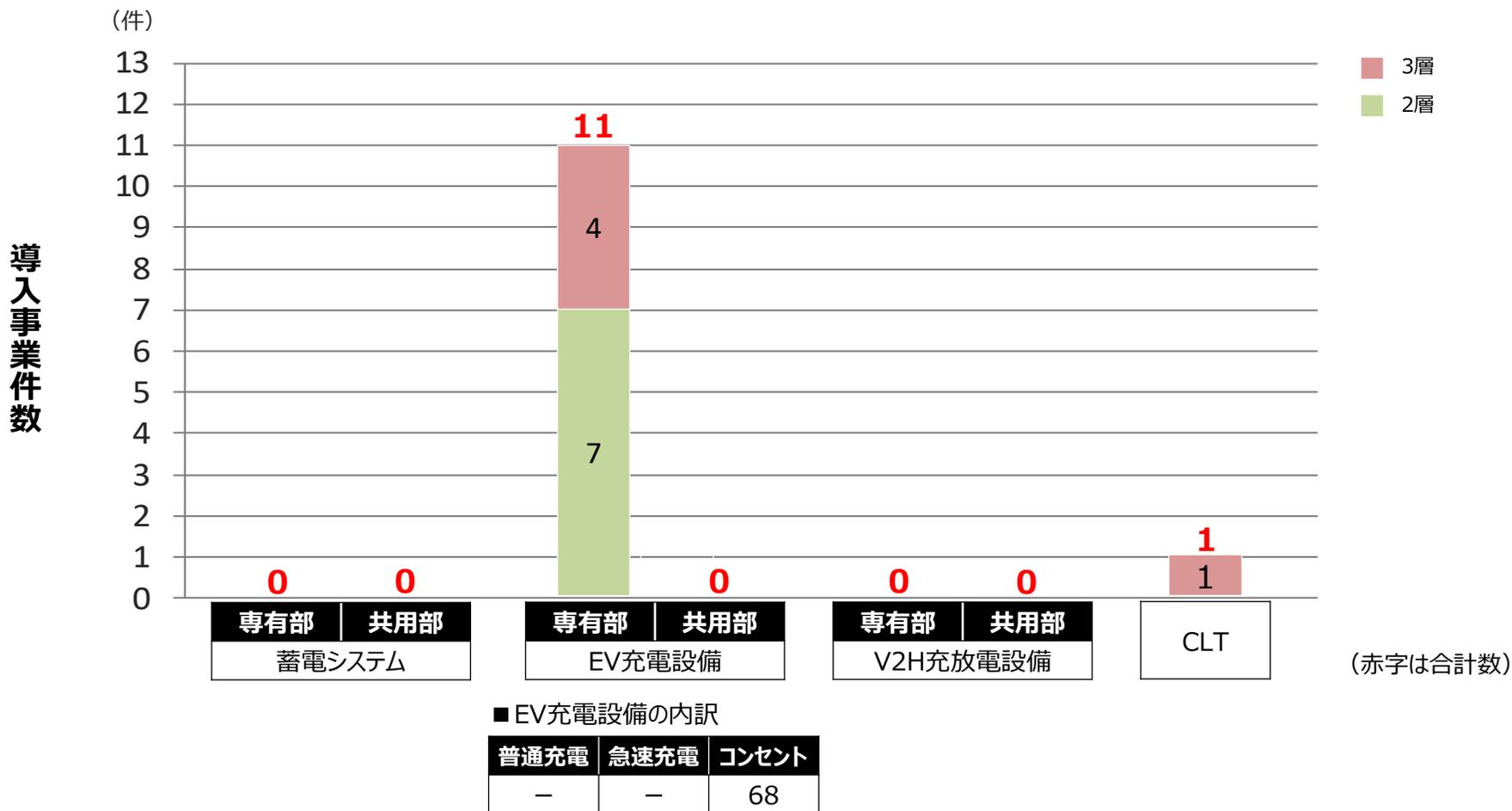
設備名	件数
ルームエアコンディショナー一部、ヒートポンプ式セントラル空調システム	1件
導入なし (地域区分2)	2件

*熱源機はガス潜熱回収型給湯機

13. 先進的省エネ設備の導入状況

[N=369]

- 追加補助対象となる先進的省エネ設備の導入状況は、EV充電設備を導入した事業が11件、CLTが1件。
- EV充電設備の導入台数は68台で、全てコンセント。

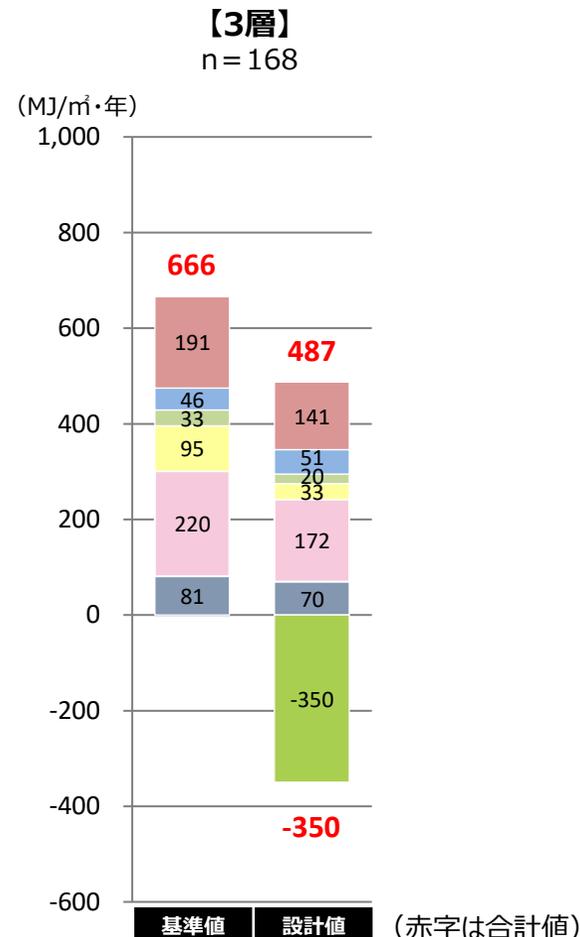
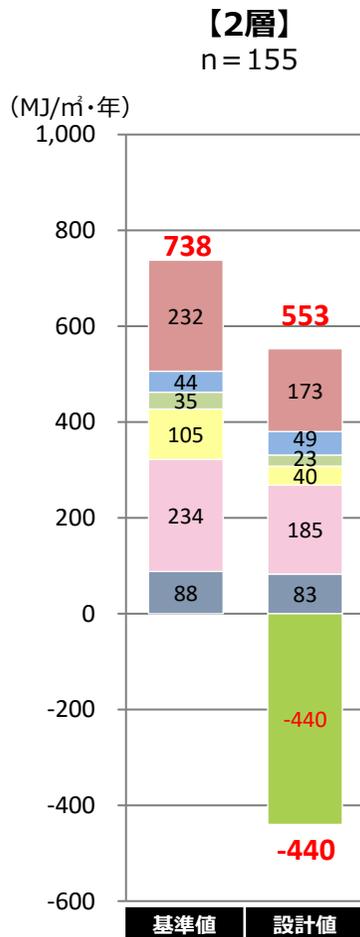
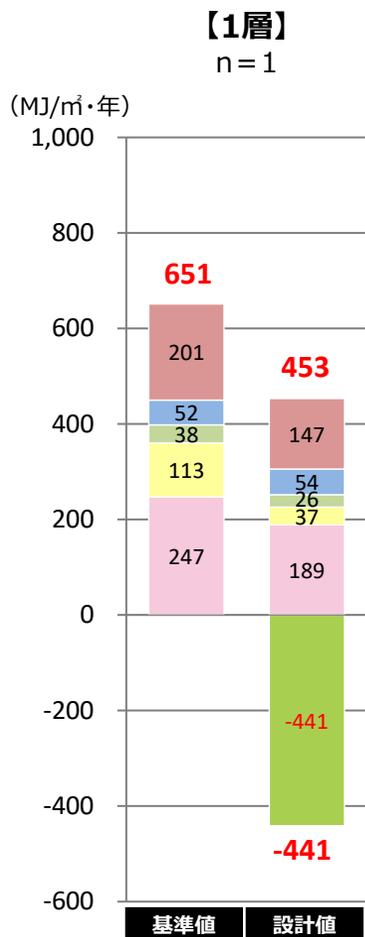


14. 住棟BELSによる単位面積当たりの一次エネルギー消費量(その他エネルギーを除く)(階層別)

[N=324]

➤ 取得した住棟BELSにおける階層別単位面積当たりの一次エネルギー消費量は以下のとおり。

単位面積当たりの一次エネルギー消費量

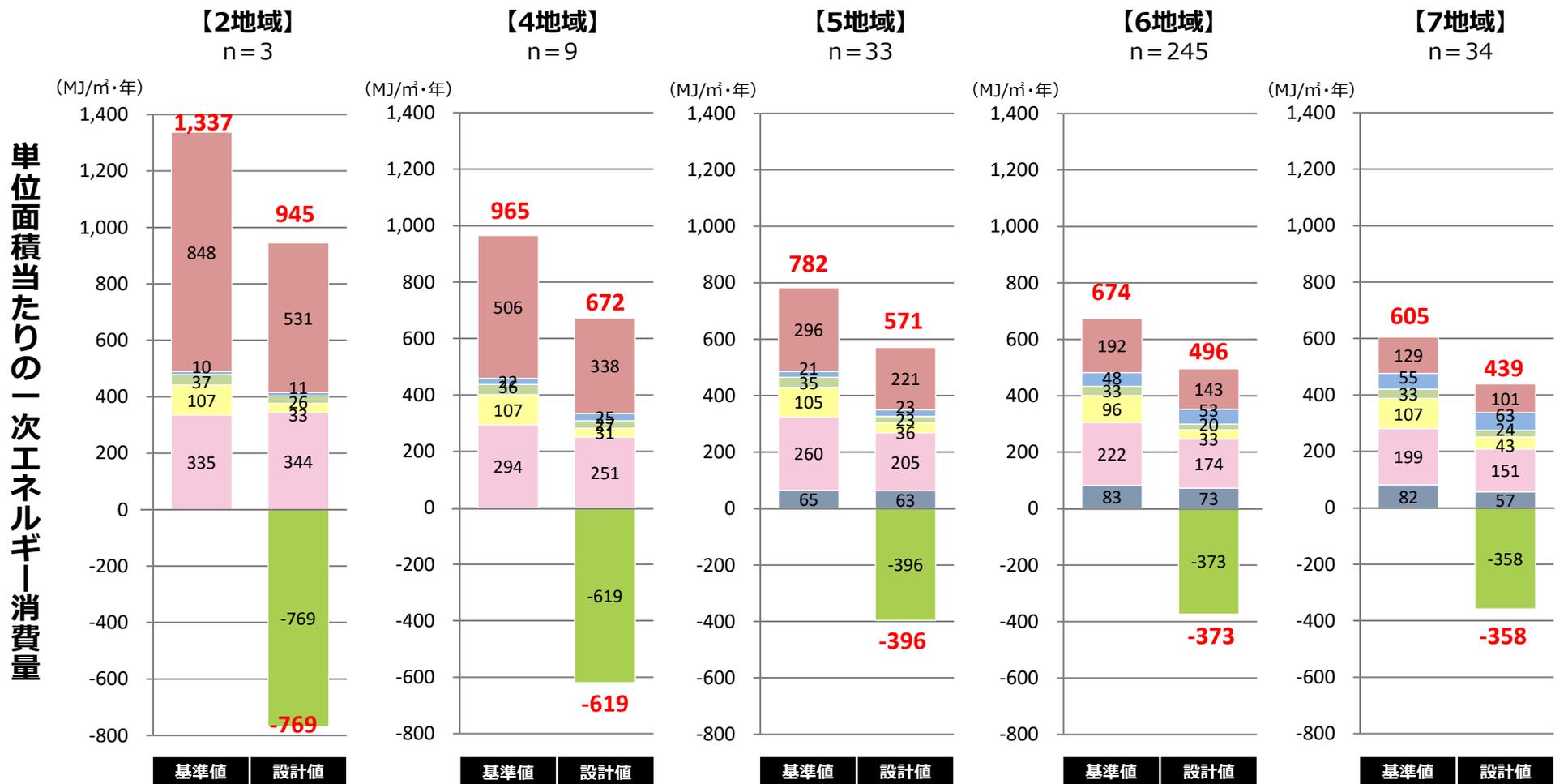


一次エネルギー消費量： 専有部・暖房 専有部・冷房 専有部・換気 専有部・照明 専有部・給湯 共有部・合計
創エネ量： 太陽光発電

15. 住棟BELSによる地域区分別一次エネルギー消費量(その他エネルギーを除く)(地域区分別)

[N=324]

➤ 取得した住棟BELSにおける地域区分別単位面積当たりの一次エネルギー消費量は以下のとおり。



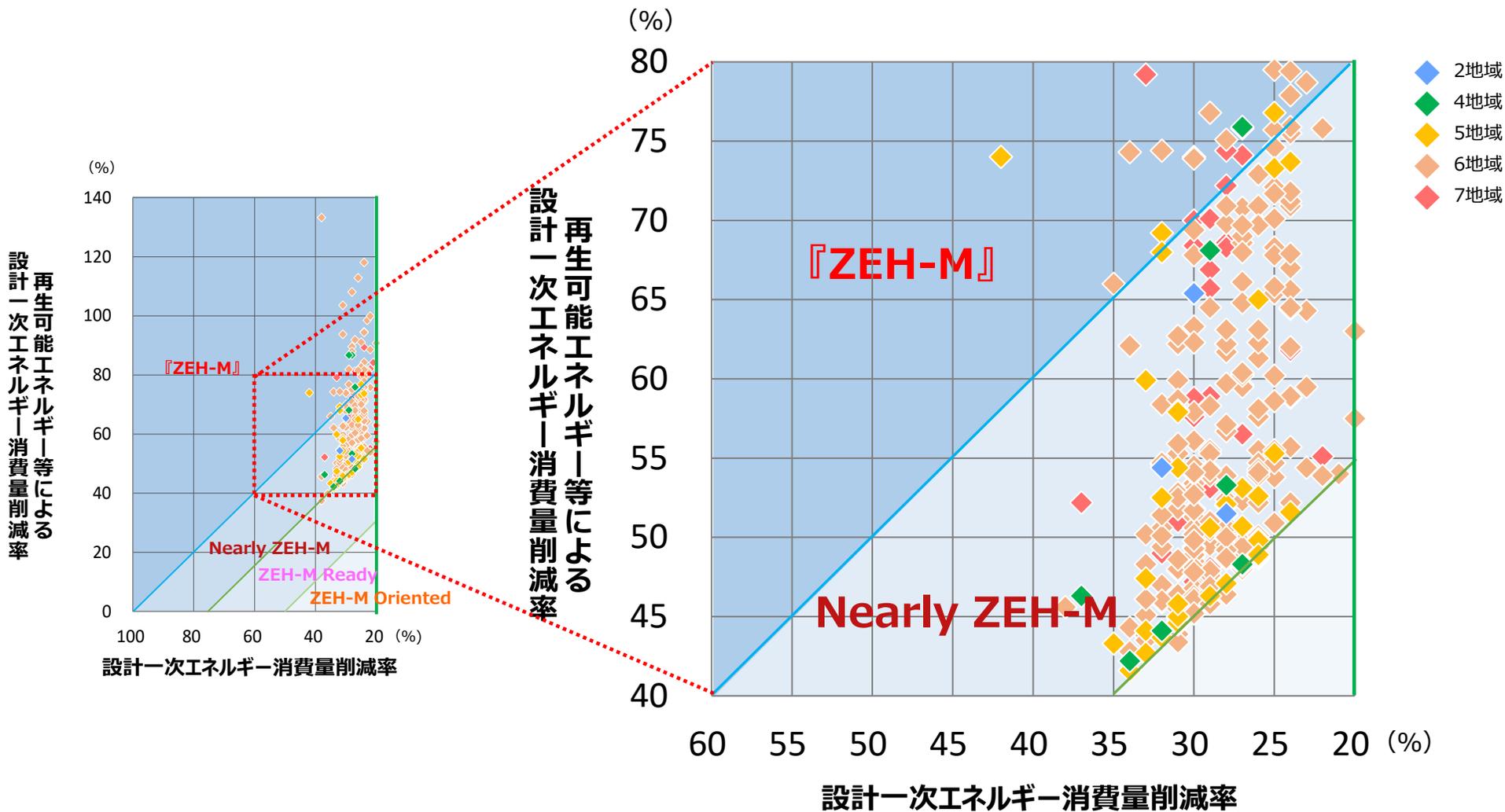
(赤字は合計値)

一次エネルギー消費量： 専有部・暖房 専有部・冷房 専有部・換気 専有部・照明 専有部・給湯 共有部・合計
 創エネ量： 太陽光発電

16. 住棟BELSによるZEH-Mランクの達成分布

[N=324]

➤ 取得した住棟BELSにおけるZEH-Mランクは、『ZEH-M』が61件、Nearly ZEH-Mは263件だった。



17. 設計一次エネルギー消費量(その他エネルギーを除く)と太陽光発電による創エネ量(単位面積あたり)

[N=324]

- 取得した住棟BELSによる単位面積当たりの設計一次エネルギー消費量の単純平均は、2地域は831.8MJ/m²・年、4地域は737.5MJ/m²・年、4地域は737.5MJ/m²・年、5地域は506.2MJ/m²・年、6地域は431.0MJ/m²・年、7地域は350.6MJ/m²・年だった。

